

平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 613

所管部局	教育委員会	所管課	学校教育課	担当者名	上西 奈穂
事業名	外国語活動実践研究事業			事業分類	ソフト事業
細事業名	外国語活動実践研究事業			政策体系	122
会計	一般会計	科目	10.教育 - 1.教育 - 2.事務		

1. 事業の概要

胡麻郷小学校を実践研究校として指定し、スーパーバイザーによる授業指導、職員研修、先進地視察を実施する。また、ALTを活用しながら授業実践を進め、学級担任主導のチームティーチングの在り方や評価方法を明確にしていく。年度末には研究発表会を開催し、市内外の教職員に指導力を高める機会を提供する。

2. 事業の目的と必要性

① 施策で目指す目標との関連付け

小学校における外国語活動について、学級担任主導のチームティーチングの在り方や評価方法を明確にする為、拠点校を指定し、ALTや地域人材等の効果的な活用を含めた実践的な取組を推進することにより、市内全体の水準の向上を図る為の事業である。

② 事業を実施する必要性

新学習指導要領による小学校外国語活動の本格実施にむけて、拠点校での実践的な取組から指導方法を確立し、全市的に取組を進める必要がある。

3. 事業費の推移

		単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額		千円				360		0	0
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等		千円				0		0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円				0		0	0
	国・府支出金	千円				360		0	0
	地方債	千円				0		0	0
	一般財源	千円				0		0	0
職員等の従事人員		人/年	-	-		0.70			
人件費		千円	-	-		2,550			
事業費総額		千円	-	-		2,910			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

教職員対象の研修の開催	85,850円（謝金、旅費）
研究発表会の開催	74,900円（謝金、旅費、印刷本費）
参考図書・教材購入	133,912円（消耗品費）

5. 事業結果の概要

胡麻郷小学校校内研修会 年間30回
 研究発表会 1回
 市内全小中学校を対象とした英語活動研修会 1回
 スーパーバイザーによる指導 5回
 ■拠点校である胡麻郷小学校を中心にALTや地域人材等を活用した実践的な取組を推進し、研究発表会などを通して、市内全体の水準の向上に努めた。

6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
●京都府との委託契約締結 360,000円	平成21年4月1日	
●南丹市英語活動研修会（授業公開及び研究発表）	平成21年11月	
●胡麻郷小学校校内研修（年間30回） ●胡麻郷小学校校内研究授業 ●胡麻郷小学校先進校視察（摩気小学校、福知山市立昭和小学校、京都市立藤ノ森小学校、岐阜県瑞穂市立生津小学校）	平成21年5月～平成22年2月 平成21年6月、10月、11月 平成21年9月、10月、11月	
●南丹市日吉町ブロック授業公開	平成21年6月、10月	
●小高連携外国語活動パートナーズスクール事業 高校生と学習した英語を活用する場面として設定。 年2回の交流を実施した。	平成21年10月 平成22年2月	
●研究発表会 拠点校である胡麻郷小学校と連携して研究発表会を開催し、取組の成果等を普及することが出来た。	平成22年1月26日	48名参加
●校内外国語活動アンケート実施、分析		
●研究紀要作成	平成22年3月	
●実績報告書提出	平成22年3月	

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

A L Tとの連携や、I C T（デジタル教材）などを効果的に活用することで、担任が中心となる授業や、A L Tを活用する授業の在り方が見えつつある。今後は、児童が主体的に学ぶための、めあてや評価方法について検討していく必要がある。さらに、モデル校の実践を市内全体のレベルアップにつなげていきたい。

【参考】過年度の評価

■平成21年度の所属長評価

--